

# 『おおきな木』通級指導教室だより

豊中市立北丘小学校 R6(2024)年度 11月29日

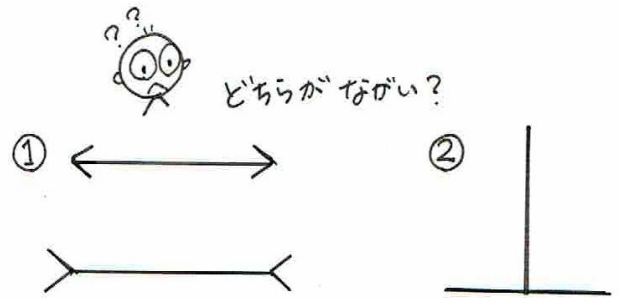
NO.3



## 「見えている」けど「見えてない」・・・

右の図の線の長さを見てください。①②それぞれ同じ長さです。おもしろいことに、同じ長さの直線が描き方によって変わって見えたりします。

人の目は案外だまされやすいものですね。



子どもたちが学習するようすを見ていますと、視力もわるくなく一生懸命見ているのに、漢字の画が一本抜けていたり、ノートを書くのに時間がかかったり、まっすぐな線や形がかけなかったりする場合があります。

努力しているのに「雑」「遅い」「おいしいけど×」・・・などの残念な結果になり、自信をなくしていることはないですか？

もしかすると、「見えている」けど「見えてない」のかもしれないですね。

■人がものを見ると、たとえば『字』という漢字を書こうとするとこのようになります。

目：入力 ⇒ 脳：情報処理 ⇒ 体（手を含む）：出力



■この一連の流れに苦手さがあるとき、たとえば漢字を書くとき

目：入力・・・ 脳：情報処理 ⇒ 体：出力 となると、



よく見ているのだけど、まちがって覚えたり書けなかったり・・・

目：入力⇒ 脳：情報処理・・・体：出力 の場合は、



読めるのだけど、  
書けなかったり、  
書いたらザツだったり  
します。

一生懸命学習に取り組んでも、これではたいへんだし、やる気も出ません。

スマホやタブレットを多く使う生活では小さい画面のなかの情報を見るので、目の動きや目と体の連携が鍛えられません。また、「画面タッチ」ばかりでは、立体的なものに働きかける体の動き、力の調節などは経験不足になるでしょう。

タブレットなどを使っていなくても、もともと目⇒脳⇒体の連携が苦手な子もいます。

- ・文字は読めるけど、書くのがとてもつらい
- ・ていねいに書いても文字の形がとりにくい
- ・黒板を書くのに時間がかかりすぎる
- ・音読するとき、読み飛ばししたり、同じ行を読んでしまったりする
- ・頭を動かしながら本を読む
- ・よく、ものや人にぶつかる
- ・さがしものが苦手
- ・ボールをキャッチするのが苦手
- ・はさみやものさし、お箸などがうまくつかえない

そんなことで困っていたら、「見えているけど見えていない」SOSかもしれません。  
視力だけでない「見え方」にも気をつけてあげてください。

参考：『ビジョントレーニングワークブック』北出勝也監修  
『見る力』を育てるビジョン・アセスメントWAVES  
Gakken 竹田契一監修

<この『おおきな木（通級指導教室）』だよりは北丘小学校 HP にも掲載しています>

『おおきな木』通級指導教室だよりに関することや、学習・生活のこと、通級「おおきな木」へのご質問、見学希望等がありましたら、まず担任の先生にご相談ください。

(豊中市立北丘小学校 通級指導教室担当：藤木桂子)